

予感研究所

アート＋テクノロジー＋エンターテインメント＝?!
500人の研究者たちの予感

会期＝2006年5月3日[水]－7日[日] 会場＝日本科学未来館(東京・お台場)

開館時間 | 10:00－17:00 (入館は閉館30分前まで) | 会期中無休

入場無料 | ただし、常設展示および企画展は別料金 常設展: 大人500円 / 18才以下200円

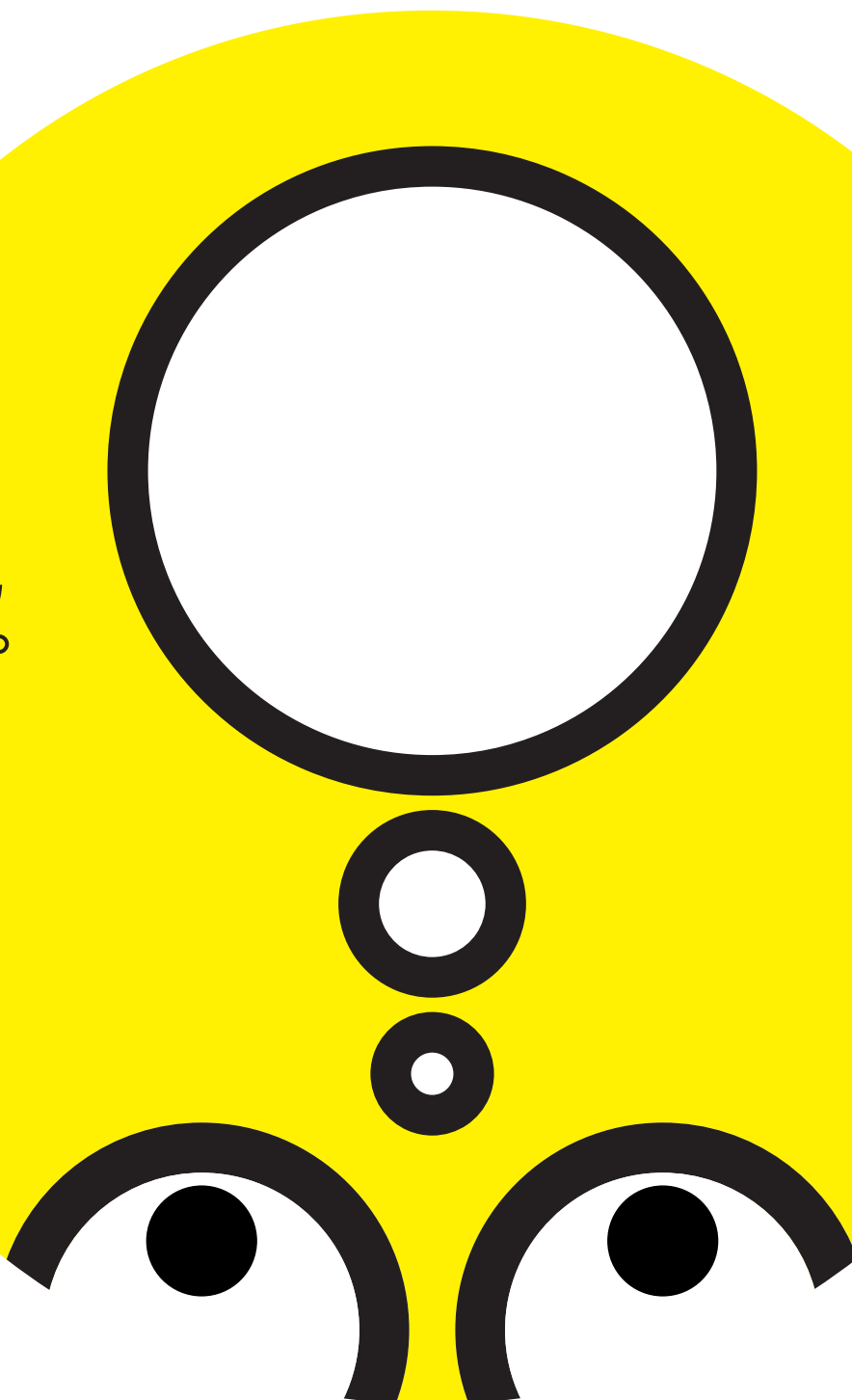
特別企画展「脳! 内なる不思議の世界へ」大人900円 18才以下350円)

<http://www.media.jst.go.jp/>

主催 | 独立行政法人 科学技術振興機構「デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術」

協力 | 日本科学未来館

楽しいこと、頭のなかでモクモク。
あれ、未来が見えてきちゃった、かな?!



予感研究所——こんなあったらな～……たとえば、道に迷った時、行きたい所の方角の矢印が空に浮かんだり、お母さんの機嫌が家の壁の色でわかって、家に入る前に身構えられたりとか……「そんなムリムリ」な、空想も、「もしかしたらできるかも」と日夜、研究者たちが、努力を重ねているところ、そこが予感研究所（略称：予感研）です。

予感研では、研究員たちが「こんなあったら」を実現するために必要な、アートとテクノロジーの研究を続けています。そして、今日は予感研の特別解放日。のぞいてみたらちょっとびっくりするような未来が見えるかも？ さあ、研究所のなかを探検してみよう！



予感研究所

アート+テクノロジー+エンターテインメント=?!
500人の研究者たちの予感

この展覧会は…… 今回の展覧会に出展されている作品は「デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術」プロジェクトのなかで育まれたものです。このプロジェクトは独立行政法人化学技術振興機構（JST）によって進められているもので、産業・学術系の研究機関によって構成する戦略的想像研究推進事業（CREST）、及び個人として同じテーマでの研究に従事する人達が参加しています。近年、情報科学技術は急速に進歩し、それとともに「メディア芸術」という新しい文化も発展してきています。このプロジェクトは、この新しい分野での作品制作を支える新しい手法や、表現を実現するための新しい基盤技術を創出するのが狙いです。具体的には、コンピュータなどの技術を使用した映画、アニメーション、ゲームソフトや、それら制作の基礎となるCGアートやネットワークアートの作品を作りやすくなるための様々な技術进行研究し、誰もが自由にデジタルメディア作品の制作を効率的に行うことができるソフトウェアやハードウェアに関する研究も行っています。科学者とアーティストたちが、分野の境を超えて、研究・意見交換をした成果を、「予感研究所」として日本科学未来館で発表するものです。



日本科学未来館
〒135-0064 東京都江東区青海2丁目41番
Tel 03-3570-9151(代) Fax 03-3570-9150
URL <http://www.miraikan.jst.go.jp/>

交通

- ◎新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」下車、徒歩約5分
「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分
- ◎東京臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート駅」下車、徒歩15分

Access

- ◎Tokyo Waterfront New Transit Yurikamome Line
- ◎5 minutes walk from “Funeno-Kagakukan station”,
- ◎4 minutes walk from “Telecom Center station”
- ◎Tokyo Waterfront area Rapid Transit Rinkai Line
- ◎15 minutes walk from “Tokyo Teleport station”.

